

令和6年6月27日

各都道府県ソフトボール協会 会長 殿

公益財団法人日本ソフトボール協会  
会長 牧島 かれん  
<公印省略>

ミズノ株式会社製バットのリコールについて  
【対応とお願い】

平素よりお世話になっております。

標記の件につきまして、ミズノ株式会社より6月20日付でソフトボール用FRP製バット「X01」のリコールについて発表がございました。

ミズノ株式会社によるリコールの対応については、同社ホームページをご参照ください。

[https://jpn.mizuno.com/user\\_support/important\\_information/20240620](https://jpn.mizuno.com/user_support/important_information/20240620)

なお、本件について、6月23日に開催の当協会理事会においても対応について審議がなされ、選手の安全を第一に考慮し、ミズノ株式会社とも協議の結果、以下の通り対応いたしますので、貴所属のチーム関係者への周知をお願いしたく存じます。

日本代表チームも提供を受けていた製品で非常に人気のモデルであり、多くの方がご使用になられていることと承知しており、シーズン最中での対応で大変心苦しい限りではございますが、安全第一でご対応を賜りますよう、宜しくお願い致します。

記

対象製品	ミズノFRP製バット X01 品番 1CJFS108(2019年モデル) および 1CJFS113(2024年モデル)
対応	<b><u>リコール該当製品については使用禁止とする。</u></b> ※同品番のうち、以下の2種類については安全性が確認できており、リコールの対象外となります。対象品番の製品をお持ちの際は、必ずご確認ください。該当製品で既に破損が発生している商品についても、同様にミズノへ送付してください。 ①検査済み品にはチェック済みの『C』マークが印字 ②2024年製の製品で、グリップテープ上部付近に記載の製造年月記号が『BCJF』『BCJG』『BCJH』『BCJI』『BCAA』『BCAB』『BDJA』『BDJB』『BDJD』『BDJE』以外のもの【赤字製造年月の製品はリコール対象】 《対象品の対応》→ミズノ株式会社へご連絡のうえ、X線検査を実施 →検査で安全性が確認できたものはそのまま返却 →安全でない製品の場合、安全な2024年製モデルで交換
注記	現時点でミズノ株式会社からは検査の結果、安全性が確認できないバットの出現率が80%となっている、との報告を受けています。各大会での混乱を避けるため迅速な対応を要請したところ、検査体制を強化し、

1日あたり 300 本の検査を実施し、バットを受け取ってから 1 週間程で手元に戻せるようご対応頂くことになりました。しかし、10 本バットを送って、手元に戻るのが約 20%、2 本ということになりかねません。また、X01 同モデルの在庫が大変限られており、7 月末に生産される本数も 350 本ほど、9 月にならないと 2000 本の生産体制にならない見通しです。よって、検査に伴い各チームの手元にあるバットの数が極端に少なくなってしまう事態を鑑み、**代替品対応**も重ねて依頼してあります。ミズノ株式会社へ検査を依頼するバット数の 1 割程度の代替品の送付を依頼してありますが、X01 同モデルとはならない可能性もあります。代替品の詳細については、ミズノ株式会社へお問合せください。詳細は添付ミズノ株式会社からの資料と、同社ホームページをご参照ください。

各チーム試合を控える中でのご対応でご苦勞をおかけしますが、選手ファーストで考え、怪我・事故が起きないことを最優先した故の判断となります。何卒ご理解賜りますようよろしくお願い致します。



## ソフトボール3号革・ゴムソフトボール用 FRPバット

### リコール案件について

ミズノ株式会社  
グローバルイクイップメントプロダクト部  
南裏

2024.6.13

0

#### 1. 不具合発覚経緯と内容

24年5月17日 24年2月発売品 革ソフトボール用バット エックス01

発売直後にも関わらず、5本折損調査品があり、詳細調査

24年5月24日 FRPの成型性を確認するため、クレーム品のX線検査実施

強度に影響する可能性が高い、成型シワを確認したので、DC品の検品実施

302本検査▶31本をNGと判定（現行基準）

①NG品をSG基準で定められている3点曲げ試験を実施（曲げ強度確認）

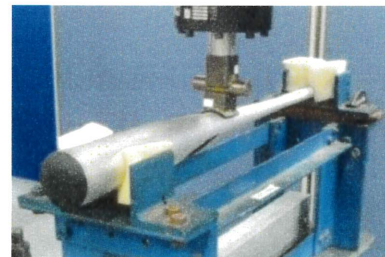
⇒ **11 / 12本 が基準未達**

②比較の為、OK判定品の3点曲げを実施

⇒ **2 / 3本 が基準未達**

▽製品画像

1CJFS113 ￥55,000



1 / 8

1

## 不具合品事例



### ▽クレーム品の例



2

## 2. 追跡調査



### ▽前モデル調査

19SS品 イックス01 2018年12月発売品 ▶ 2024年モデルはデザイン変更のみ



2019年モデルのミズノ在庫品を調査

⇒ X線検査、SG3点曲げ試験実施 ⇒ NG品が混在している

〈X線検査：12本実施**全数合格** 抜き取りでSG3点曲げ3本実施**全数不合格**〉

製造条件や、検査状況を確認しましたが、製造履歴からOK品、NG品を区別することが出来ず、**販売分全数を対象にした、リコールを実施いたします。**

3 / 8

3

### 3. 数量情報まとめ



▽2019年モデル エックス01 1CJFS108 ¥49,500

生産本数 4,806本



出荷本数 (日本) 4,277本 (海外) 510本

在庫数 19本

▽2024年モデル エックス01 1CJFS113 ¥55,000

生産本数 940本



出荷本数 (日本) : 440本 (海外) : 112本

在庫数 388本

※海外販売分は、台湾、韓国、シンガポール の販社

4 / 8

4

### 4. 今後のスケジュールと対応方法



- ・ 6/20日頃 購入者様へのリコールの告知（弊社ホームページ、小売店様店頭掲示）
- ・ 購入者様 ⇒ ミズノお客様相談センターへ連絡いただく（電話 or e-mail）
- ・ 現物をミズノへ送付いただく
- ・ X線検査にて、成型状態の確認
  - OK ⇒ そのまま、購入者様へ返却
  - NG ⇒ 対策仕様の2024年モデルで交換（お渡し時期は7月末頃から順次）
- ・ 小売店様 店頭在庫
  - ミズノへ返品していただく
  - X線検査を実施し、NG品は廃棄する OK品は、再度在庫計上し、販売
- ※小売店様へは、弊社営業担当を通じて、6/7～ 返品お願い通知
- ・ ミズノ在庫
  - X線検査を実施し、NG品は廃棄する OK品は、再度在庫計上し、販売

5 / 8

5

## 5. 検査済品 識別方法



### 検査済品 識別マーク



製造年月記号

2019年モデル：今後の追加生産なし ⇒ 検査済品には全て「C」マーク

2024年モデル：バット本体の製造年月記号で識別

24年5月以前生産分 ⇒ 検査済品には全て「C」マーク

24年6月以降生産分には「C」マーク入れない

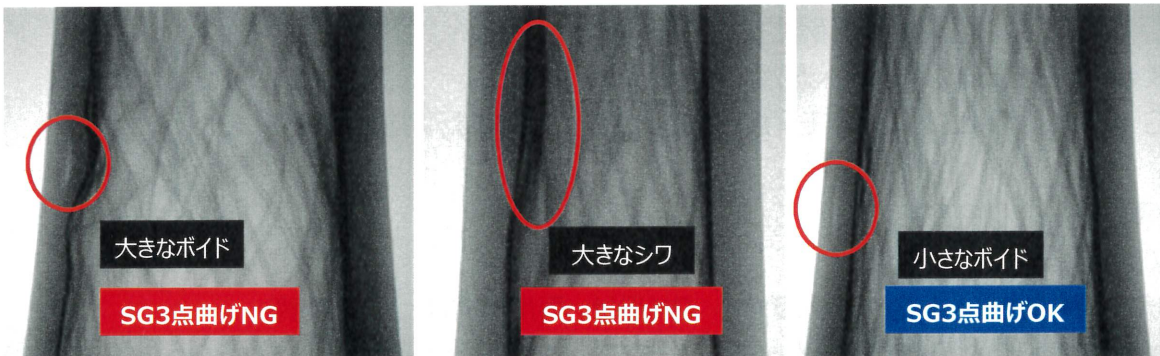
6 / 8

6

## 【対応】 良品の選別 に向けてのX線確認



- ▶ SG3点曲げは、破壊検査なので不可
- ▶ X線にて成型状態を確認し、3点曲げ強度を推定する



在庫品にて、画像と強度の整合性を掴めたので、選別対応を実施

REACH BEYOND

7 / 8

7

## 6. 全日本女子代表のご対応について



### ■ 実施内容

選手使用分を回収させていただきX線検査実施

### ■ 対応スケジュール

弊社担当田島が6/15(土)合宿集合日に選手より該当バットをお預かり

※20本程度と想定しております

弊社でX線検査を実施

OK品：6/17(月)送品予定

NG品：対策仕様品で交換（納期確認中）

※お預かり期間中、代替バット X02 を準備

### ■ 未使用 チームお手持ち品

お預かりし、X線検査実施



8 / 8